

2023年3月期 第2四半期 決算説明会

2022年11月21日

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨



第2四半期決算概要

施策の進捗状況と今後の取り組み

2023年3月期計画

配当について

第2四半期決算概要

業績/前年同期比較～売上高・各利益とも過去最高

売上高:増収
営業利益:増益

粗利益 :増益
経常利益:増益

販管費:増加(率は低下)
四半期純利益:増益

単位:百万円

| | 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 | 増減 | 対前年同期比 |
|-------------|---------------------|---------------------|--------|--------|
| 売上高 | 19,038 | 20,949 | +1,910 | +10.0% |
| 粗利益 | 4,626 | 5,236 | +609 | +13.2% |
| 粗利益率 | 24.3% | 25.0% | +0.7 | |
| 販管費 | 2,238 | 2,453 | +215 | +9.6% |
| 販管费率 | 11.8% | 11.7% | △0.1 | |
| 営業利益 | 2,388 | 2,782 | +393 | +16.5% |
| 営業利益率 | 12.5% | 13.3% | +0.8 | |
| 経常利益 | 2,622 | 5,021 | +2,398 | +91.5% |
| 経常利益率 | 13.8% | 24.0% | +10.2 | |
| 四半期純利益 | 1,689 | 2,564 | +874 | +51.8% |
| 1株当たり四半期純利益 | 136.97 | 207.88 | +70.91 | — |

売上高/セグメント別(前年同期比)

- 開発事業： 17.6%増加 … 金融業および製造業向けが増加
- 運用・構築事業： 5.7%増加 … 通信業向けが増加
- 販売事業： 0.2%増加 … 海外で減少したものの、国内での機器販売は増加

単位：百万円

| | 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 | 増 減 |
|---------|---------------------|---------------------|--------|
| 開発事業 | 9,913 | 11,656 | +1,743 |
| 運用・構築事業 | 2,684 | 2,837 | +153 |
| 販売事業 | 6,440 | 6,455 | +15 |
| 合 計 | 19,038 | 20,949 | +1,911 |

売上高/セグメント別（開発事業、運用・構築事業〔顧客業種別〕）

単位：百万円

| | 開発事業 | | 運用・構築事業 | |
|-------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 | 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 |
| 製造業 | 4,050 | 4,482 | 630 | 521 |
| 通 信 | 196 | 254 | 290 | 461 |
| 電力・ガス | 437 | 454 | 19 | 16 |
| 金 融 | 2,708 | 3,631 | 689 | 631 |
| 生損保 | 204 | 199 | 87 | 46 |
| 流 通 | 398 | 417 | 0 | — |
| 大学等 | 367 | 391 | 475 | 486 |
| サービス | 1,166 | 1,074 | 84 | 83 |
| その他 | 381 | 749 | 386 | 587 |
| 合 計 | 9,913 | 11,656 | 2,684 | 2,837 |

太字：増加の主要因

売上高/セグメント別（販売事業、子会社別）

販売事業：前年比 +15百万円増加(+0.2%)

（国内） AIT 販売事業 売上高

単位：百万円

| 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 | 増減 |
|---------------------|---------------------|----|
| 5,257 | 5,263 | +6 |

SRA 販売事業 売上高

単位：百万円

| 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 | 増減 |
|---------------------|---------------------|-----|
| 599 | 638 | +39 |

（海外） SRAOSS 販売事業 売上高

単位：百万円

| 2022年3月期 第2四半期実績 | 2023年3月期 第2四半期実績 | 増減 |
|---------------------|---------------------|-----|
| 705 | 662 | △43 |

◎半導体不足の影響あり

粗利益以下、全利益指標の額・率ともに、2期連続で過去最高更新

【粗利益】

増益+609百万円(+13.2%) 粗利益率24.3% → 25.0%

〈主な要因〉 高収益ビジネスへのシフト等による粗利益率の向上

【営業利益】

増益+393百万円(+16.5%) 営業利益率12.5% → 13.3%

〈主な要因〉 粗利益・粗利益率の向上、販管費の効果的・効率的活用

【経常利益】

増益+2,398百万円(+91.5%) 経常利益率13.8% → 24.0%

〈主な要因〉 営業外収益の増加(為替差益の増加等)

【四半期純利益】

増益+874百万円(+51.8%)

〈主な要因〉 + 営業利益・営業外収益の増加
- 特別損失(投資有価証券評価損 963百万円)

参考：グループ会社実績

単位：百万円

| | | 2021年3月期 | | 2022年3月期 | | 2023年3月期 |
|---------------------|------|----------|--------|----------|--------|---------------|
| | | 第2四半期 | 通期 | 第2四半期 | 通期 | 第2四半期 |
| SRA | 売上高 | 8,969 | 19,093 | 9,169 | 19,787 | 10,600 |
| | 経常利益 | 1,012 | 3,285 | 1,869 | 5,370 | 4,708 |
| AIT | 売上高 | 6,355 | 12,367 | 6,266 | 12,456 | 6,361 |
| | 経常利益 | 721 | 1,403 | 676 | 1,294 | 723 |
| ソフトウェア・サイエンス | 売上高 | 1,119 | 2,370 | 1,299 | 2,807 | 1,606 |
| | 経常利益 | 83 | 260 | 154 | 399 | 235 |
| SRA西日本 | 売上高 | 605 | 1,333 | 592 | 1,469 | 680 |
| | 経常利益 | 126 | 235 | 99 | 239 | 125 |
| SRA東北 | 売上高 | 549 | 1,375 | 581 | 1,419 | 523 |
| | 経常利益 | 101 | 259 | 100 | 320 | 92 |
| SRAアメリカ SRAヨーロッパ | 売上高 | 556 | 985 | 524 | 1,051 | 679 |
| | 経常利益 | 49 | 149 | 96 | 173 | △12 |
| SRA OSS | 売上高 | 1,000 | 1,889 | 705 | 1,500 | 663 |
| | 経常利益 | △32 | △73 | △54 | △241 | △479 |
| その他の子会社 | 売上高 | 756 | 1,464 | 758 | 1,482 | 813 |
| | 経常利益 | 71 | 111 | 47 | 55 | 25 |
| 子会社合計 (SRAを除く) | 売上高 | 10,943 | 21,787 | 10,728 | 22,186 | 11,326 |
| | 経常利益 | 1,120 | 2,345 | 1,120 | 2,240 | 709 |

施策の進捗状況と今後の取り組み

施策内容

○環境の変化に即応した成長の実現

- ① 既存事業の持続的成長と生産性向上による事業基盤安定化
- ② 高収益の新しいビジネスモデルの創出
- ③ グループ内連携強化によるシナジー発揮
- ④ 労働力の提供から価値の提供への移行
- ⑤ 受託型ビジネスから提案型ビジネスへのシフト
- ⑥ コンサルティングビジネスを核として価値の提供を行う提案型ビジネスへのシフト

進捗状況 ・今後の 取り組み

【進捗】

- ① 売上高増加(+10%)、粗利益率向上(24.3%→25.0%)、
開発事業拡大(+17.6%)
- ② クラウドビジネス(AWS・Salesforce)が拡大
- ③ グループ内連携プロジェクトが増加
- ④ 自社IPビジネス(P-CON)等が拡大
- ⑤ ⑥ Oracle Cloud ERP導入ビジネスのスタート

施策内容

①既存顧客の深耕

- ・グループシナジーを強化、SRAグループ製品/サービスを提供

②ビジネスモデルの変革

1. クラウドインフラビジネス
2. LowCode、NoCode開発の推進
3. 製品提案型の業務コンサルティングに注力、「開発」「運用・構築」「販売」の、より「上流」から参画することでビジネスチャンスを拡大(Oracle Cloud ERP、Salesforce、AWS、BlackRock等)

進捗状況 ・今後の 取り組み

【進捗】

- Oracle Cloud ERPを活用した製品提案型コンサルティングの本格展開開始、大手自動車や情報通信関連で引き合いが活発化

【今後の取り組み】

- 「Oracle Cloud ERPの自社利用」によって得た知識・経験をベースに付加価値の高いビジネスを展開

施策内容

③ 自社IP製品・グローバルビジネスの推進

- 自社IPの商品力向上と販売力強化
(P-CON*1、Proxim*2、Cavirin*3、Univision*4、DB-Spiral*5等)
- オープンソースやクラウド対応によるセキュリティ、健康管理、データ分析、AI等成長分野における新自社IP製品の開発
- マルチクラウドやハイブリッドクラウドへの対応サービス充実
- 東南アジア、特にベトナムを中心とした市場の開拓

*1 既存の紙の書類をデジタル化できるペーパーレスソリューション

*2 ワイヤレスデータコミュニケーション分野、無線機器メーカー

*3 ハイブリッドクラウド用の包括的ソリューション

*4 文教システムをWebサービスにより統合した大学事務ソリューション

*5 用途に応じてパッケージを選択できる大学情報データベースシステム

進捗状況 ・今後の 取り組み

【進捗】

- FIDO対応製品のプロトタイプが完成
- ベトナムNAL社への出資(36%)が完了、当社から3名の取締役が就任

【今後の取り組み】

- 帳票システムP-CON販売による新規顧客の拡大
- アジアビジネス強化とチャイナリスクを踏まえた対応として、ベトナムビジネスを拡大

施策内容

- ①「管理本部」の機能を「グループ戦略本部」と「管理本部」に分割
- ②「先端技術研究所(KTL)」をSRAHD配下のグループ横断組織に再構成、
「SRA:先端技術研究室」(旧:先端技術研究所)
- ③「**プロダクトサービス事業部**」(旧BI事業部)
- ④技術本部

進捗状況 ・今後の 取り組み

【進捗】

- プロダクト・サービス事業部にて、「自社IP製品」を中心とする「製品・サービス型ビジネス」による高収益ビジネスを推進、P-CONのSaas化やFIDO応用商品のPoCを推進

【今後の取り組み】

- 自社IPビジネスへの更なる注力に併せ、知財管理を強化
- AIやディープラーニング領域等への注力

人的資源の最大活用

施策内容

「少数精鋭」の基本スタンスは維持したうえで、戦略遂行に必要な下記人事諸施策を講じていくことで、「活力ある組織」を実現

- ① **コンサルティング人材の育成**
当社の強みである自社IPや他社IPの知識と経験を蓄積
→顧客への提供価値の向上
- ② **ビジネスパートナー(BP)との協働促進**
- ③ **海外人材採用の積極化**

進捗状況 ・今後の 取り組み

【進捗】

- 「2022 APN AWS Top Engineers」において、2名が2022 **APN AWS Top Engineers (Service)**に選出
- **AWS有資格者数(9月末時点)**
グループ全体で**108名**(うち、SRAにて91名)

【今後の取り組み】

- **社内でOracle Cloud ERPを経験した社員⇒高単価のコンサルティング人材**

2023年3月期 通期計画

2023年3月期 計画

急激な為替相場の変動、世界的な景気後退懸念、地政学リスクの拡大等下振れリスクは依然高く、現段階では合理的な予想は困難にて、計画見直しせず。

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 計画 | 増 減 | 単位:百万円 |
|---------------------|-------------|-------------|--------|-------------------|
| 売上高 | 40,203 | 42,500 | +2,297 | |
| 粗利益 | 9,937 | 10,500 | +563 | |
| 粗利益率 | 24.7% | 24.7% | ±0 | |
| 販売管理費 | 4,497 | 5,300 | +803 | (営業活動費等増加) |
| 販管費率 | 11.2% | 12.5% | +1.3% | |
| 営業利益 | 5,440 | 5,200 | △240 | |
| 営業利益率 | 13.5% | 12.2% | △1.3% | (前期為替差益等の特殊要因を考慮) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,577 | 3,300 | △277 | |
| 1株当たり当期純利益 | 289.96円 | 267.48円 | △22.48 | |
| 1株当たり配当金 | 130.00円 | 130.00円 | ±0 | |

※2023年3月期計画 販売管理費には「投資」を含む

売上高計画内訳

【セグメント別売上 高計画】

単位:百万円

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 計画 | 増減 |
|---------|----------------|----------------|--------|
| 開発事業 | 21,673 | 22,900 | +1,227 |
| 運用・構築事業 | 5,664 | 6,000 | +336 |
| 販売事業 | 12,865 | 13,600 | +735 |
| 合計 | 40,203 | 42,500 | +2,297 |

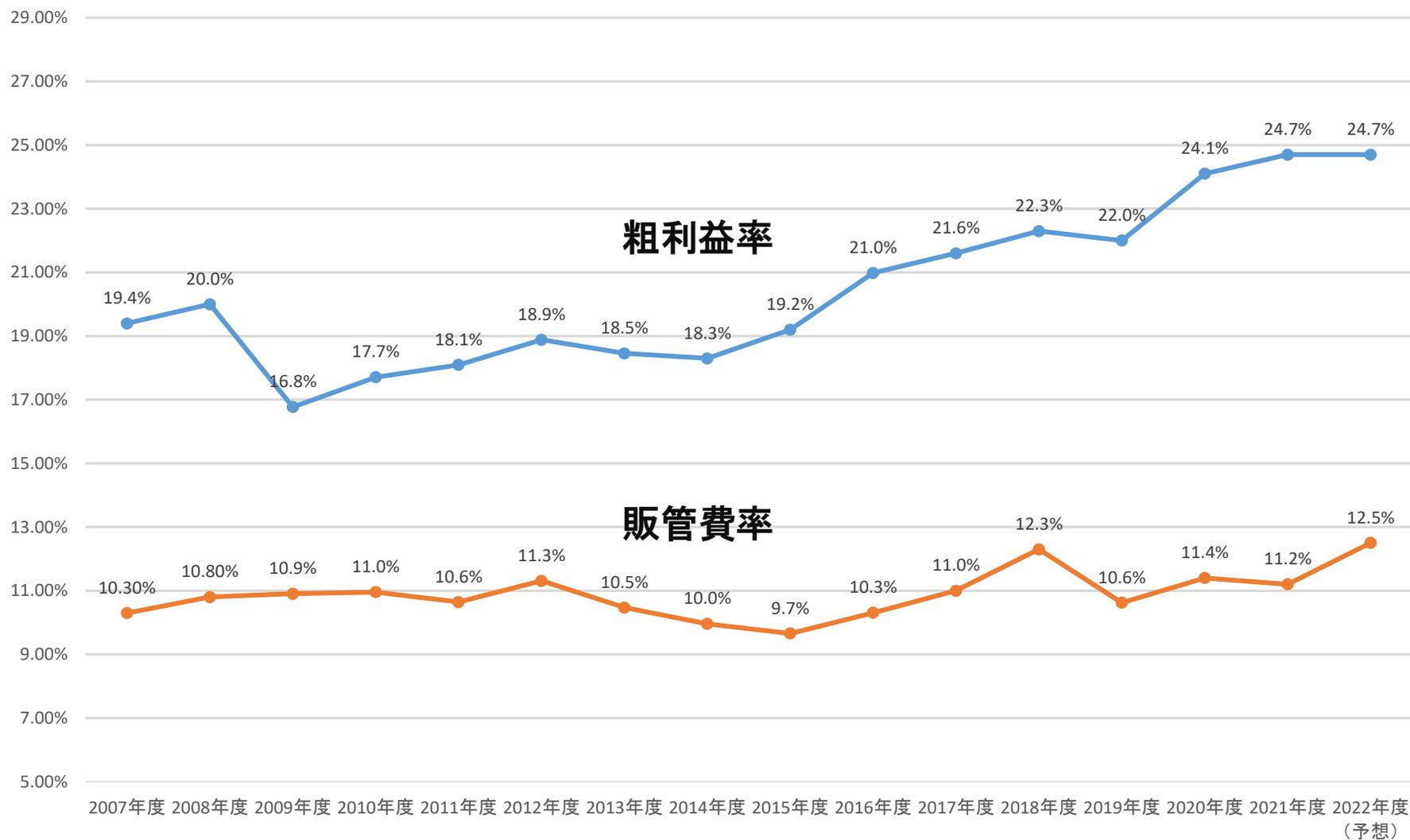
【主要グループ会社別 売上高】

単位:百万円

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期 計画 | 増減 |
|--------|----------------|----------------|------|
| (株)SRA | 19,787 | 20,200 | +412 |
| (株)AIT | 12,456 | 12,500 | +43 |
| 国内子会社 | 5,696 | 5,800 | +103 |
| 海外子会社 | 3,464 | 4,300 | +835 |

※連結相殺前の数値

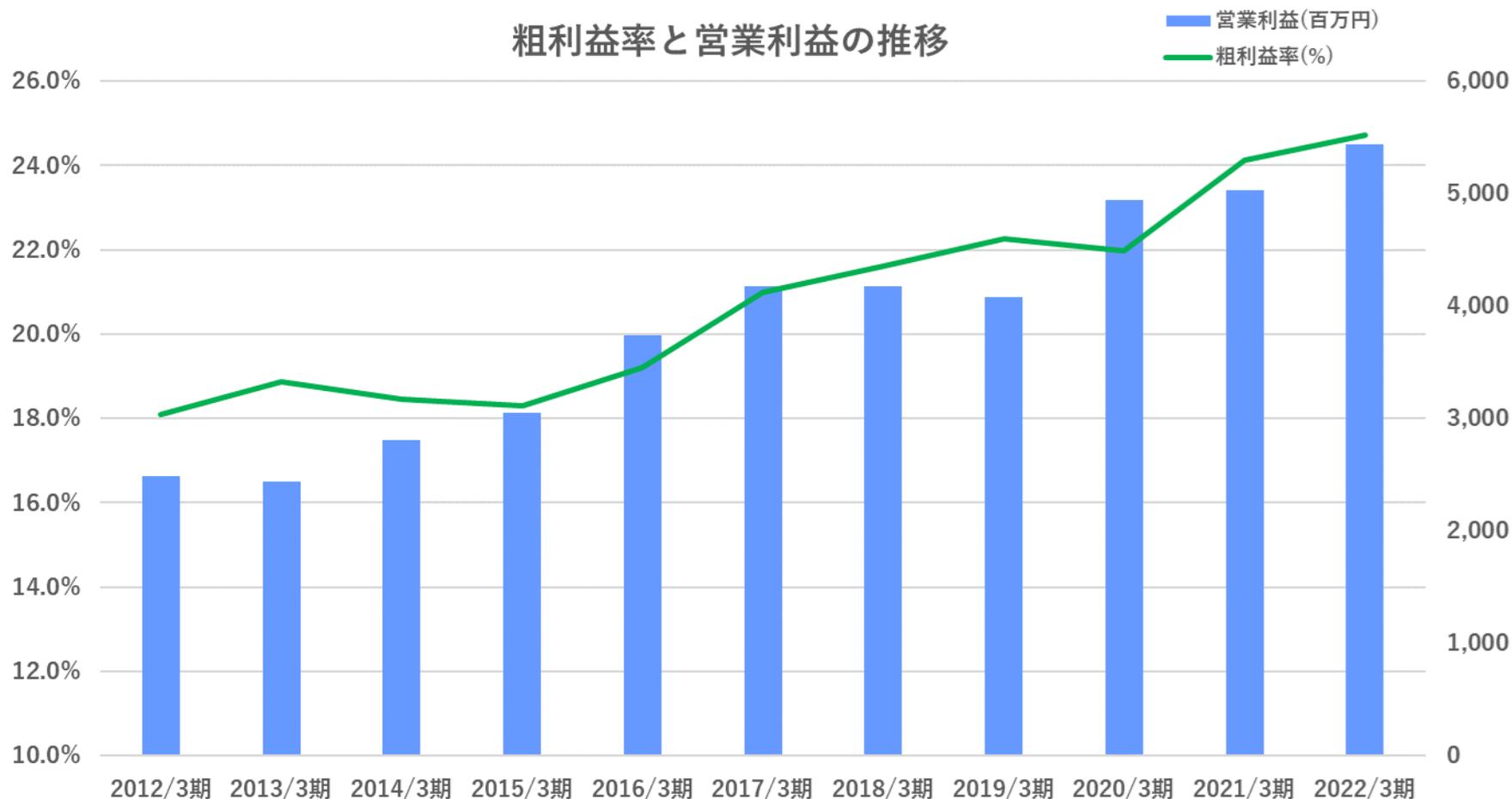
参考：粗利益率と販管費率の推移（連結） 2009年度～2022年度



配当について

過去10年における粗利益率と営業利益の推移

経営の重要課題である「安定的な高配当」を実現すべく、本業の成長に確りと取り組み、粗利益率の向上と営業利益の増大に努め、中長期的な観点で着実に配当原資を積上げ。



配当金の推移

これまで、当社では、投資有価証券の評価損等で特別損失を計上して減益となった年度においても、「キャッシュアウトを伴わない一過性の評価損」であり、減配することなく、高配当を維持。

親会社株主に帰属する当期純利益と1株当たり配当金の推移

— 親会社株主に帰属する当期純利益(億円) ■ 配当(円) ■ 配当計画(円)



配当方針の見直しについて

| これまで | 見直し後 |
|---|---|
| <p>「配当性向50%を目途に、安定的な高配当を目指す」</p> <p>「株主資本の効率的活用の指標であるROEを継続的に10%以上確保する」</p> | <p>「配当性向50%を目途に、安定的な高配当を目指す」</p> <p>「株主資本の効率的活用の指標であるROEを継続的に10%以上確保する」</p> <p><u>なお、実現していない損益等が原因で親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合等においては、その影響を考慮し配当額を決定する。</u></p> |

これまでの配当方針を変えるものではなく、下線部分を追加し、考え方を明確化

- 外貨建て資産や投資有価証券は、市況動向により評価損益が発生
- 評価損益はあくまで「未実現損益」であり、配当原資には馴染まない
- 以上より、評価損益は配当原資から外す(明確化)

| (具体例) | 配当原資に含む (実現損益) | 配当原資に含まない (未実現損益) |
|-------|-----------------------|----------------------|
| 為替関連 | 海外(通貨)での 売上による営業利益 | 為替差益・為替差損 |
| 株式関連 | 投資有価証券 売却損益 | 投資有価証券 評価損益 |

■ 1株当たり配当金

・2021年3月期:120円

中間配当金:40円+期末配当金:80円
(期末配当 当初計画比10円増配)
配当性向 48.2% 配当利回り: 4.4%

・2022年3月期:130円

中間配当金:40円+期末配当金:90円
(期末配当 当初計画比10円増配)
配当性向 44.8% 配当利回り: 4.7%

・2023年3月期:130円(計画)

中間配当金:40円+期末配当金:90円
配当性向 48.6% 配当利回り: ー%

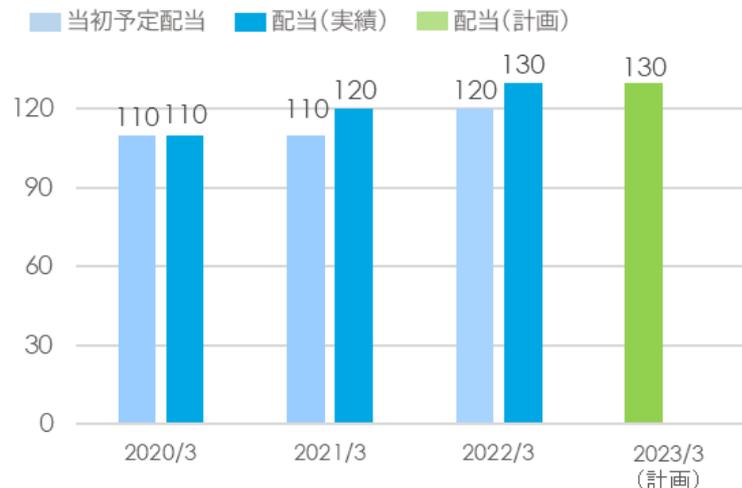
■ 連結 ROE 10%以上を持続的に確保

・2022年3月期:15.0%

・2023年3月期:12.6%(予想)

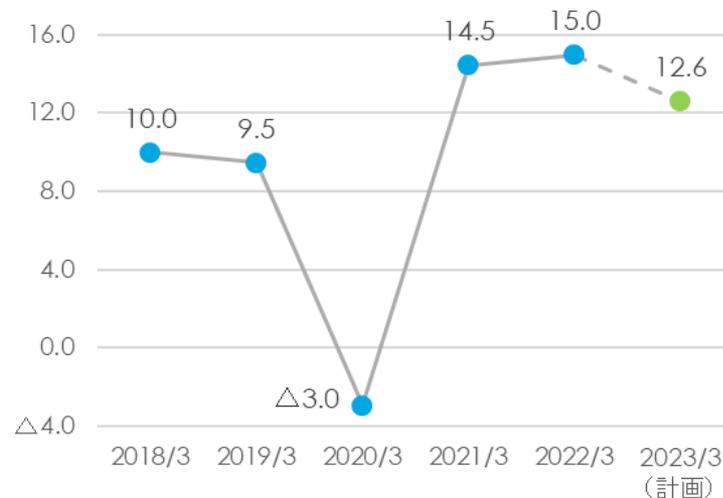
1株当たり配当金

(単位:円)



ROE(自己資本当期純利益率)

(単位:%)



<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提としており、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。